

鹿大広報

No.147

April/1998

編集・発行
鹿児島大学
広報委員会



特集
「新入生へのアドバイス」

目次

特集 新入生へのアドバイス

21世紀をみざして力をつけよう	学長 田中 弘允.....	3
新入生の皆さんへ	学生部長 野 勉.....	3
新入生諸君へ	法文学部長 石田 忠彦.....	4
大学生活における留意事項	法文学部助教授 西田 和弘.....	4
自由な時間をどう使うか	経済情報学科2年 岡田 恵子.....	4
鹿児島大学の門に立って	教育学部長 坂尾 隆.....	5
大学とネットワークづくり	教育学部助教授 武隈 晃.....	5
教育学部の新入生へ	生涯教育総合課程健康教育2年 肥後 耕生.....	5
新しい春	理学部長 堀田 満.....	6
大学でまず学ぶこと	理学部教授 中谷 宗弘.....	6
数学を感じる瞬間	数理情報科学科2年 太田 達也.....	6
医学部学生の自覚を喚起する	医学部長 大井 好忠.....	7
先輩より後輩へのアドバイス	医学科2年 徳永 紘康.....	7
新入生へ、辛口のごあいさつ	医学研究科2年 田口 周平.....	7
人と作るには一点の素心の存するを要す	歯学部長 笠原 泰夫.....	8
新入生の諸君へ	歯学部教授 鳥居 光男.....	8
HAPPY TOGETHER!	歯学科2年 河野 博史.....	8
新入生へのアドバイス	工学部長 赤坂 裕.....	9
新入生へ	工学部教授 行田 尚義.....	9
毎日進歩しよう	工学研究科2年 柳田雄一郎.....	9
新入生へのメッセージ	農学部長 堀口 毅.....	10
「新入生へのアドバイス」	生物生産学科2年 清木場信行.....	10
研究テーマに恋をする	農学研究科2年 向井 祥恵.....	10
水産学部新入生へのメッセージ	水産学部長 市川 英雄.....	11
新入生へのアドバイス	水産学科2年 猪之鼻友和.....	11
新入生へ	水産学研究科2年 井上 成秀.....	11
医技短入学おめでとう	医療技術短期大学部部长 鋒之原 昌.....	12
新・医技短生のみなさんへ	看護学科2年 福永 早苗.....	12
おいわい	理学療法学科2年 北川 慶子.....	12
連合農学研究科の紹介	大学院連合農学研究科教授 小澤 貴和.....	13
連合獣医学研究科への期待	農学部教授 西尾 晃.....	13
良い研究計画、一生懸命、頑張る	連合農学研究科2年 ファウザン アリ.....	13

学内だより

随 想.....	鹿児島大学を感じる時	梅野 正信	14
保 健.....	保健管理センターへのご案内	前田 芳夫	15
留学生日記.....	鹿児島での生活	アガタ クルツェジンスカ	16
	Surviving in Japan	ガジャルド シガロア フランシスコ ハビエル	16
研究室紹介.....	農学部・農学市場学研究室	岩元 泉	17
新任部局長等紹介			18
平成10年度入学志願者受付状況			20
鹿児島大学にはこんなサークル(部・同好会)があります			21
図書館だより			22
編集後記			22

表紙デザイン

南国ガジュマルの木の根で、新学年のスタートから深く根を下ろし、白い線で前進していく姿を表した。
教育学部 美術教育構成デザイン 教授 永松實夫

新入生へのアドバイス

21世紀をみざして力をつけよう



田 中 学 長

永年の夢がかなえられてこのたび鹿児島大学へ入学された皆さん、入学おめでとうございます。今迄の努力に敬意を表し、晴れて鹿大生となったことを御家族や恩師ならびに関係の方々と共にお祝いしたいと思います。鹿大では、キャンパスの主人公として心から歓迎します。

さて、皆さんが鹿大に入学した目的は何でしょうか。来るべき21世紀社会での大きな活躍をみざして、もろもろの必要な事柄を学ぶことが大切であると思います。

21世紀の社会は、一方では高度の知識や技術、情報、国際化が主役となりますが、他方では、人々はますます自然から離れて人工的な世界で生活しなければならなくなり、また社会の变革も激しくなると予測されますので、社会は大変複雑になるものと思われます。このような社会で大いに活躍するためには、幅広い教養と豊かな人間性、専門的知識が必要となります。鹿大は、教養、外国語、体育、情報科学などの共通教育等並びに各学部の専門教育のカリキュラムを用意しています。

皆さんが社会に出たときに直面する多くの問題は、多面的、学際的の性質をもっています

学 長 田 中 弘 允

ので、様々な学問領域における基本的事項を学生時代に学んでおかなければなりません。共通教育では、社会に出て役立つ基礎的知識や考え方などを幅広く身につけて下さい。また、専門教育については、将来身をたてる基本になるものですから十分に学んで欲しいと思います。

また、学問の楽しさを知ってもらいたいと思います。学問は、義務的に勉強するばかりでは、退屈で、好きになれず、楽しみを知ることにはできないでしょう。自ら進んで学問の中に入りこみ、納得がいくまで学べば、大きな喜びや楽しみがわかってもらえると思います。そのための教材は、図書館やインターネットなどから得ることができます。教官と学問の楽しさについて積極的に話し合うことも大切でしょう。学問を楽しみつつ、勉強し、その結果が社会生活に応用できればこの上ないことだと思います。

美しい自然と豊かな人情に恵まれた鹿児島の地で、学問、スポーツ、友人や市民との交流を通じて21世紀に向けての力を蓄えられんことを祈ります。

新入生の皆さんへ



野 学 生 部 長

新入生の皆さん、ようこそ鹿児島大学へ。皆さんにとって、高校までの生活とは異なり、これから大人の生活が始まります。物心両面にわたり束縛から解放された皆さんは、絶えず自由の中で危険と隣り合うこととなります。“一気飲み”に象徴される暴飲や無謀運転等、時として油断が命まで落とす結果となります。親元からの仕送りを一晩で使い果たそうとも、講義に出席しなくても皆さんに注意を喚起してくれる人はもういないのです。皆さんを一人前の自立した人間として認めるところから大学生活が始まります。常に自重し、責任ある行動が要求されます。

阪神大震災の際に見せてくれた感動的な若者達の献身的行動は、ともすると物質的に恵まれ、空腹感を経験することの少ない日々の生活の中では、発揮されないまま時が過ぎてしまいがちです。芸術や文化そして科学技術がステップアップするのも、“切実さ”が起爆剤となり、高まりを生んできました。

学 生 部 長 野 勉

化石燃料に支えられた今世紀で60億人に達する世界人口の爆発的増加は、様々な環境の変化を引き起こしています。その日々の変化を人間は感じることはできませんが、確実に悪化しています。すでに、世界全体としては、厳しい状態にあり、日本にはたまたまその豊かさの面が遍在しているに過ぎません。今こそ、皆さんの英知を結集して、経済活動と環境問題が調和した「持続可能な発展」(sustainable development)を目指して、学部を越えた話し合いをしなければならぬ時期にきています。環境問題は身近なことから一人一人が危機感を抱き参加することから始まります。目の前の空き缶を拾うことを躊躇してはいけません。必要なのは勇気だけです。皆さんの自発的行動こそが、環境を再生し、自然と共生する未来型の美しいキャンパスを創成できるのです。そこから、きっと新しい発想や香り高い文化が芽吹き、世界に広がるに違いありません。



石田 忠彦

新入生諸君へ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

最近では十八歳人口の約半数が大学に進学する時代ですから、諸君にとっては大学入学もとくに珍しいことでもないかもしれませんが、世界的な規模で考えれば、幼稚園から小中高迄は国民のほとんどが、それに約半数が大学まで教育を受けることができるという日本の状況は、きわめて恵まれたものであります。そのような教育の機会が与えられたことの意味をじっくりと考えてみてください。

また、常日頃感じることですが、鹿児島大学の学生は、その素質は決して劣ったものではないのですが、何故か入学の段階ですでに自信喪失してしまっている人が多い。相撲でいえば立合の前にすでに勝負に負けてしまっている。しかし、鹿児島大学を出ているいろいろの分野の責任ある位置で活躍している先輩達

法文学部長 石田 忠彦

は沢山います。彼らはそれぞれ自信に満ちています。最近の鹿児島大学の学生に欠けているものはこの自信だと思います。入学時に諸君にいちばん要望したいことは、自分に自信をもてということです。

法文学部では平成九年四月から学部改組を行いカリキュラムも整備されています。しかし、これらが活かされるか否かは諸君がそれを活かすかどうかにかかっています。学生が真剣に学ばない大学というものは意味がありません。昨今のような困難性を増してきている時代を生き抜くには、大学を出たということ自体にはあまり意味はなく、そこで何を学び、どのような職能を身につけたかが重要です。諸君は大学で学ぶという貴重な機会を与えられました。充実した大学生活を送ってください。



西田 和弘

大学生活における留意事項

助教授 西田 和弘

皆さん、ご入学おめでとうございます。私から大学生活について5点ほどアドバイスをしたいと思います。

1. 酒は飲んでも飲まれるな。イッキ飲みはやめて下さい。お酒に対する冒険です。味わってゆっくり飲みましょう。
2. 大学生はもう立派な大人(のはずなんだが...?)。自分の行動には何事も責任を持って下さい。
3. 大学には自由がある、と同時に何事も自己責任が原則。
4. 掲示板は必ずマメに見ること。「見ていなかったから、知りませんでした」は通用しません。
5. 提出物等期限厳守。高校みたいに甘くありません。

皆さんの大学生活が充実した4年間となることを祈ります。

自由な時間をどう使うか

経済情報学科2年 岡田 恵子

新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。晴れて入学された今、どういう気持ちを持っているのでしょうか。私の1年前を振り返ってみると、やっと受験勉強から解放されたという安堵感や新しい生活に対する期待、不安など様々な気持ちが入り交じっていたように思います。

さて、大学生活とはどのようなものでしょうか。私にとってこの1年間は思ったとおり、いやそれ以上に自由な時間がありました。その自由な時間をどう使うか、それは自分自身で決めることです。今までは与えられたことを決められたとおりにやってきた人も少なくないと思います。それはある意味ラクな生き方なのかもしれません。でもこれからは全て自分で選んでいかなければならないのです。考える時間はたくさんあります。精一杯自分の頭で考えて下さい。そうすれば、失敗さえ恐れなくなります。大学生活は自分次第で何倍も楽しくなることを忘れないで下さい。



岡田 恵子



坂尾 隆

鹿児島大学の門に立って

新入生の皆さん、入学おめでとう。
 といっても、今の皆さんの気持はいろいろであると思います。志望が叶い、心から喜んでいる人、第一志望は叶わず、やや複雑な思いの人...など。ですが、今、皆さんにおいて大切なことは、どのような経過をたどって来たかではなく、今、鹿児島大学の門に立っているということです。そして、これから鹿児島大学の中で、どう進んでいくかということです。入学の志望が叶ったというだけでは、それだけの値打ちしかありませんし、志望度は低かったとしても、今から自分の進む道を見つければ素晴らしいことになるでしょう。積極的に、鹿児島大学でどんなことを学ぶか、どんなことに挑戦できるかを模索し、取り組んで欲しいと思います。

特に教育学部の皆さんは、教員養成の課程でも、あるいは生涯教育の課程でも、幅広い分野にわたって学習するのが特徴であり、また、カリキュラムの中での自由度も相当高く

教育学部長 坂尾 隆

なっています。こういう中で、漫然と、あるいは単に取得しやすい科目をとった選択の仕方をしていたら、専門性は身につけることができず、何を学んだかわからないといったことになるでしょう。

そこで、どんな教師になるか、あるいは、どんな仕事のできる人になるかといった自分の未来像を自分で描きながら、それに合わせて、どういう学習を進めていくかを考えていくことが大切です。教育学部の卒業生は教師になる、ならないに拘わらず、いづれにおいても人を対象とした仕事が専門となることが多いはずですが、その場合、あらかじめ予想できなかった場面に直面することが多く、その都度、適切に対処できる能力を高めておかなければなりません。そのためには幅広く、いろいろな能力を身につけておくことが大切です。それと同時に、豊かな人間性も欠かせません。それには、学習だけでなく人との関係を豊かに築いていくことが必要です。



武隈 晃

大学とネットワークづくり

助教授 武隈 晃

これから長い(?) 学生生活を送られる新入生のご健闘とご多幸を祈らずにはられません。さて、大学とは何をする「場」なのでしょう。もちろん「知」に触れそれを学び、さらにはそれを拓くことに多くの価値が置かれることはいうまでもありません。私はこれに加えて、大学を人的なネットワーク(新しい関係をつくり出していくという点に注目すれば「リゾーム:根茎」と表現した方が良いかも知れません)の構築のしかたを体験する場としてとらえています。いろいろな人達と触れ合う機会を意識的に求めていってほしいと思います。学科の仲間や教職員はもちろんですが、外国人や年代の違う人達、様々な職業をもつ人々...。できたら障害のある人や高齢者を対象としたボランティア活動にも参加してみてください。時間は「あるもの」ではなく「つくるもの」です。異質な人々との関係づくりはきっと皆さんの心と生活を豊かにしてくれるはずですが。

教育学部の新入生へ

生涯教育総合課程健康教育2年 肥後 耕生

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。つらかった受験勉強から解放され、期待を膨らませていることでしょうか。

さて、皆さんはどのような目標をもって本学部へ入学されてきたでしょうか。これから見つけていくのもいいと思います。

また、大学生の間にしかできないこともあります。大いにチャレンジしてみたいかがでしょうか。

本学部では、「生涯教育実習」というものがあります。これは、社会教育施設や地域をまるごと体験的に学ぶことができます。これらを通して様々な人と触れ合うことができます。また、国際的にも交流する機会があります。積極的に参加してみてください。きっと何か見付き、自分を大きくすることができるでしょう。

学ぶことに誇りを持ち、目的意識や責任感をもって、勉学・課外活動など大学生活を大いに楽しみましょう。



肥後 耕生



堀田 満

新しい春

理学部構内には2本のヒカンザクラが植わっています。生物は個体ごとに個性があって、構内に植わっている2本のヒカンザクラも、その1本はもう花が終わり、寒いのにみずみずしい若葉を拓けていますが、もう1本は丁度、紅色の花を一杯に拓けた花盛りです。でも皆さん方の入学の時期、4月にはどちらも若葉の季節になっています。

キャンパスの中心部にあるこの小さな学部、理学部は昨年の4月から数理情報科学科、物理科学科、生命科学科、地球環境科学科の、新しい4学科体制に編成され、教育研究の内容をより現代化し、総合化するように努力しています。また、今年からは理学研究科と工学研究科とが合同した「理工学研究科」が設立されます。そして理学系を中軸にした、地球とその生命について研究と教育を行う「生命物質システム専攻」(博士課程)が生まれました。

皆さん方が学業を終えて大学から旅立たれ

理学部長 堀田 満

るのは、新しい世紀、21世紀になってからです。迎えようとしている21世紀、私たちの未来がバラ色とは言えないことは明らかです。過ぎ去る20世紀は、21世紀に人口の爆発、食糧危機、エネルギーや資源の枯渇、地球規模の環境汚染や温暖化といった重大な問題の解決を残しています。これらの人類の存続に関わる問題は、科学技術の進歩だけでは解決されないと思われます。来るべき21世紀には、理系の人たちには人類が築き上げてきた文化と社会システム、伝統についての深い理解が要求されるでしょうし、文系の人たちには自然科学と科学技術の基礎についての洞察的な智が必要とされるでしょう。ヒカンザクラでさえ、1本1本がちがった個性を持っています。入学された皆さん方は、ヒカンザクラ以上に個性ある方たちです。「専門馬鹿」にならず、「たこつぼ」に落ち込まず、個性あふれる成長をされることを期待しております。



中谷 宗弘

大学でまず学ぶこと

教授 中谷 宗弘

新入生のみなさん、入学おめでとう。大学生活への期待に胸膨らませ、この日を迎えられることでしょう。これからの四年間が充実した実り多い日々であることを祈っております。入学後にまず学ぶのは、共通教育が中心で、多くの教養科目を受講することになります。講義に出てみて、これは自分が学ぶつもりでいたのとは少しちがうぞ、と戸惑う人があるかも知れません。自然科学、社会科学そして人文科学と幅広く学び、知らなかった世界を知り、人生を考え、そして自分のこれからを改めて考える。共通教育は、このようなためにあります。現在では、専門ばかりでなく、幅広く物事の見れる人、柔軟な思考のできる人が求められています。まず、人間性を養い、それから専門を学びます。これから君達の本当の人生が始まります。生涯歩む道が決まるのもこの四年間です。何事においても最初が大切。しっかり前を見据えて、学生生活をエンジョイしましょう。

数学を感じる瞬間

数理情報科学科2年 太田 達也

数理情報科学科に在籍して早一年が過ぎ去った。今こうして後ろの道を振り返ってみると多少なりとも数学の空間に浸り込めて数学の色に染まったと思えてくるから不思議だ。話す口調も数学っぽくなった気がしている。

一般的に大学の数学は高校のそれとは違うと言われるが、私もこの一年間でそれを実感した。高校での数学は決まりきった枠の内であれば定型的なものであった、が大学での数学はその枠を取り払い無限の広がりを持っている。つまり大学の数学にはあらゆる場所に可能性が転がっていて、それこそが本来の数学の姿だと私は思う。だから数学は辞められない。数学をやっていると、時折私は数学を感じる瞬間がある。大学では学ぶことに学生の主体性が必要とされる。数学を感じることに、これは自身が数学の空間へ自ら入る瞬間に味わえる。せっかく数学を学ぼうとこの学科へ入ってきた新入生、数学科らしいねと言われるぐらい数学を感じてみてはどうか。



太田 達也



大井好忠

医学部学生の自覚を喚起する

難関を突破しての入学おめでとうございませぬ。面接の資料に医学部受験の動機を書くことがあるが、実際に明確な動機をもって入学する学生は何割であろうか？医学部受験は多分に偏差値に依存している。そのような背景で入学した学生の中に落伍者が出ていたと思われる。また、1クラスに数名でる精神異常者も漠然と入学したための入学後のストレスと考えられる。米国では4年制大学卒業生が医学部に入学する。理科系学部で4年間学び、医学部をさらに希望する者だけが進学する。これをメディカル・スクール制度という。文部省は偏差値だけからの医学部受験を抑制するためにメディカル・スクール構想を考えている。その具体的な発想が4年生大学卒業生の医学部への編入学である。鹿児島大学でもカリキュラムを整備し編入学に対応できるようにしている。このような事態の背景・理由には多くの事が考えられる。一県一医大構想以降の医師過剰問題、インフォームド・コン

医学部長 大井好忠

セントに代表される医師と患者との信頼関係と医師のモラルが21世紀を目前にして新たに問われているからです。本学でも医学部は6年一貫教育になった。1年半でプレメディカル・アカデミズムを身につけることになる。米国では4年を要している。活字に親しみ科学する心を養って欲しい。記憶力に頼る勉強では頭脳がパンクする。理解できる能力が必要である。コンピューターにも早くから親しんで欲しい。日常的に日本語でも英語でも医学用語を学んで欲しい。痛みではなく疼痛と。医学部卒業後の進路は、医学研究者、臨床医、厚生行政官の3つである。大学側は医学研究者を渴望している。卒後、基礎系大学院への進学者である。臨床医も教官、勤務医、開業医とわかれる。厚生省・保健所などで予防医学を志す道もある。将来の進路を考えてみることも大切なことである。漠然と6年間を過ごすのではなく、目的意識をもって勉学することが大切である。自覚して欲しい。



徳永紘康

先輩より後輩へのアドバイス

医学科2年 徳永紘康

新入生の皆さん、期待と不安の中新しい大学生活を始めようとしていると思います。高校の生活とは全く違う点も多く戸惑うに違いません。でも心配には及びません。今から挙げる3点を心に留めておけば大丈夫です。1点目は、自分に必要であるものを学ぶ姿勢をもつことです。時間を無駄にしないで済みます。それには、確かな人生の目標を持ち積極的に学ぶ必要があります。2点目は、様々な人の話を聞ける人になることです。自分の非に気付いたり違う視点から物事を考えたりできるようになります。それには、学び取ろうとする姿勢と広い教養が必要です。3点目は、没頭できる趣味をもつことです。面白みのある人間になれ、心の支えにもなります。それには、様々なことを試してみることです。大学生活を送るうえで必要な細かなことはキャンパス内で先輩に話しかけてください。きっと素敵なアドバイスが聞けるとと思います。新入生との出会いを楽しみにしています。

新入生へ、辛口のごあいさつ

医学研究科2年 田口周平

鹿大が第一希望でなかった人に、劣等感自分を飛躍させるバネであるとまず言いたい。人材、施設の点から鹿大で学べることは有限である。私も含め、努力したからといって、この不況下に前途の保証はない。しかし、一流大学の人間だって、悪あがきをしていることを肝に銘じてほしい。医者として社会に出た経験で言うが、社会に出ても勉強は続けねばならないが、集中すれば、大学時代ほど効果的に学力を伸ばすチャンスはない。人の噂話等の無駄なことに時間を費やすのではなく、大学時代の時間をぜひ自分のために有効に使ってほしい。エチケットとして、地球環境に配慮し、経済力のある人も通学にはなるべくマイカーを使用しない、弁当箱やスーパーのトレイ、塩化ビニルラップを可燃物ゴミに出さない、図書館の閲覧室で会話をしないこと。運動は、体力作りだけでなく脳ホルモンを分泌し、やる気を引き出すので、汗かいてください。皆の前途が開けることを祈念して。



田口周平



笠原 泰夫

人と作るには一点の素心の存するを要す

歯学部長 笠原 泰夫

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。若々しい心で鹿児島大学に新鮮さを吹込んで下さるものと、心から歓迎いたします。

新入生の諸君が本学を志望され入学された真意の程は神のみぞ知る所であり、私共には推察の余地もありませんが、入学されたからには、大学は勉強する所である、生涯付き合える良い友達を得る所である、大学は専攻とは別に教養を身につけ人格を磨く所である、大学はleisure landではない事を認識すべきである、大学は困難な問題にぶち当たった時に、姑息なあるいは卑劣な便宜の手立てを構えず正々堂々と真正面から解決を計る手段を学ぶ所である・・・と云うことを常に念頭におき、“大学に入学して良かった”と思える様な有意義な学生生活を過される様祈念しています。

次に諸君が大学生活を送られる上で私共の立場からのadviceは、在学中には講義や実習などいろいろな場面で諸君なりに感想

なり批判などを持たれる場面が多いとは思いますが、その時には一步後退して“この考え方はあまりに短兵急的で短絡的ではないか”と考えてみてほしいのです。学科課程をすべて学び終えて卒業したあとの感想ならともかく、勉学の途中での苦しまぎれの思いつきや批判は誠に慎むべきであり蔑むべき行為であると肝に銘じておいて下さい。卒業した諸君の先輩の中にも“在学中は何故あの科目を勉強せねばならないか分らなかったが、社会に出て実務に就いてみるとその必要性が身にしみて分かる”と云う人が多いからです。更には先輩の云う事を教師の云う事より信じる傾向が強いのですが、先輩の云う事は尾ひれが付いていることをお忘れなく。

以上思いつくままに述べて参りましたが、心からのおめでとうは諸君が大学を無事卒業される際に贈りたい言葉です。大学は入学するために存在するのではなく卒業するために存在するのですから・・・。

新入生の諸君へ

教授 鳥居 光男



鳥居 光男

新入生諸君、入学おめでとうございます。ただ、入試合格は一つの目標ではありますが、目的ではなく、これからが本当の学問をするスタートです。ベルリン大学を創設したフンボルトは、「大学とは学ぶということ学ぶところだ」と言っております。我々歯科医師が相手にするのは人間です。しかも病気を持った病める人です。患者さんの身になって考えることができ、どんな人とも話し合えるような幅広い教養と、全人格が求められます。

まず、1年半の共通教育が諸君を待っています。共通教育には鹿大ならではのユニークな講義も多く開講されています。課せられているというのではなく、何を勉強してやるかというアクティブな態度で臨み、この1年半で学問するということがどんなことを考え、溢れんばかりの教養を身につけて、桜ヶ丘へ来て下さい。待っています。

HAPPY TOGETHER !

歯学科2年 河野 博史

新入生の皆さん、入学おめでとう。ようやく受験生活から開放されて期待満々の今日この頃ではないですか。さて、新入生へのアドバイスということですが、私の考えが少しでも役立てばうれしいです。学業に関することはオリエンテーション、合宿等で学部長や学部の先生方が詳しく話をして下さると思うので私は大学生活についてアドバイスすることにします。大学生活を送る上で大切なことは、一言で言うと「楽しむ」ということです。講義でもサークルでも学外活動でも何でもいから、本を読んだり、仲間と何かしたりして「楽しむ」ことが重要なのです。自分の中に何か一つ「楽しむ」ことがあれば、それだけで毎日の生活の支えとなって何かちょっとしたことで大学生活全体がつまらないと感じたりすることはないでしょう。だから皆さんも今からでも何か一つ「楽しむ」ことを探してみして下さい。それでは最後に一言、HAPPY TOGETHER !



河野 博史



赤坂 裕

新生へのアドバイス

ご入学おめでとうございます。厳しい受験勉強を乗り越えてほっとしているところかと思いますが、あわただしくしている内にすぐに大学での授業が始まります。合格発表から入学までは、ほんとに時間がないですね。出だしが肝心です。大学に入ったらこれをしよう、あれもしたいと色々思い描いて受験の苦難を乗り越えた人もいるでしょうが、まとまった行動計画は夏休みまで待った方がよいでしょう。大学での本分はあくまで勉学に励むことです。そこを履き違えないようにしてください。

工学部には全部で7学科ありますが、それぞれの学科に相談にのってくれる先生がいます。何か分からないことがあったら、自分だけで思い悩まないで相談に行ってみてください。カリキュラムを見ると、教養科目の選択の幅が広いのがわかります。入学時からかなりの専門科目を履修できるようになっていますし、物理学では補習教育を実施しています。よく考えて受講する科目を決めて下さい。大

工学部長 赤坂 裕

学では勉強も含めて何をするかを自分で決めていきます。そこが高等学校までと一番違う点だと思います。

入学したばかりであり先のことまで考えが及ばないかもしれませんが、学部卒業後には研究科(大学院)があります。鹿児島大学工学部の学生は、最近では大体3人に1人が工学研究科博士前期課程に進学し、修士を取得しています。修士を取得するのはごく当たり前のことになってきていますので、皆さんも考えてみて下さい。博士は、工学研究科から昨年1年間で25名誕生しています。

日本全体が停滞気味になって、そこからなかなか脱出できません。社会構造を変革していけるような創造性のある人材を育成することが大学、特に工学分野に望まれています。アメリカでは、学生が会社を起こして社長になる例も多く見られます。そのような元気な人が、皆さんの中から何人も現われることを期待します。



行田 尚義

新生へ

教授 行田 尚義

大学の工学部での教育は学生から企業へのインターフェースだと思います。企業で本当に必要な人間は苦境に立った時それを打開する先を見通す判断と意思決定が出来る人が要求されます。それを養うための基礎が大学教育であると考えます。それには人間の織り成す社会の諸々を知ることから始まります。社会を構成するのは人間ですからちょっぴり良いから相手の身になって考える能力が要求されます。諸君は幸いに総合大学に入学したのです、ですから将来医者になる学生・法律家を志す学生・文学で身を立てたいと思っている学生やいろいろの専門の教官と出会うチャンスがあるのです。ですからクラブ活動でも良いし、食堂でたまたま隣合わせた人でも良いのです、友人や恩師をたくさん作ってください。知らないことを勉強するには立派な図書館もあります。そして大いに学生生活を楽しんでください。そして、初恋をするのも今なのです。あらゆることに貪欲に好奇心を持って学生生活をおくって行って欲しいのです。

毎日進歩しよう

工学研究科2年 柳田 雄一郎

新一年生みなさん、入学おめでとうございます。皆それぞれ心に期するものがあることと思いますが、この二年間高い理想を持って前向きに生活したいものです。そこで、「毎日進歩する」ということを心がけてみてはいかがでしょうか。大学院では講義に出席するとともに、二年間を通して修士論文へ向けての研究を行うこととなります。例えば、この研究活動を毎日継続して行って欲しいのです。一日一日の努力はその日だけを見ても、目に見える程の進歩はしていないでしょう。しかし、一日の努力は、必ずその分だけは伸びているものです。実際、役に立つ進歩・研究成果というものは小さな進歩の積み重ねの結果であると思います。私も昨年一年間大学院生として過ごしてみて、一定のペースで研究を続けることの大切さを感じました。以上、私なりのアドバイスでしたが、みなさんの大学院生活が良きものとなるようにお祈りして終わりとお致します。



柳田 雄一郎



堀 口 毅

新入生へのメッセージ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。入学というものは、いつでも嬉しいものですが、大学へ入学した喜びはまた格別なものだと思います。大学生として過ごす時期は人生の中でもとくに輝いている時だからです。大学時代に、身につけるものは、授業からだけではありません。講義は新しいものの考え方と自分自身の生き方を身につけるための一助に過ぎません。深く考え、自分の価値観をつくり、自分に最もふさわしい生き方を見つけましょう。

鹿児島大学農学部は、21世紀へ向けての新しい農学のビジョンを描きながら、特色のある農学部づくりを絶え間なく行っています。遠い過去から人類の生存を支えてきた農業・農学の歩みは、人間は他の生物との共存のもとに、環境との調和を保ちながら生存すべきであること、地球上の物質循環は生物を媒介としてはじめて可能になることを教えて

農学部長 堀 口 毅

くれます。近年、農学の分野では国際化とともに、その対象は地球規模にまで広がり、さらに、生物科学の目覚ましい進歩に伴って、バイオテクノロジーと呼ばれる生物の優れた機能を利用した新しい技術の開発や新技術に立脚した新産業の開発も盛んに進められています。このように、農学は長期的展望に立った未来の産業として、また、人類の健康を増進しながら、生物に囲まれた豊かな人間環境を創造する科学としての使命を担っています。農学部の教育は、知識のみに片寄らず、フィールドを通して、自然、とくに生物とのふれあいによる豊かな人間性と、実験と実習によって得られる実践的、創造的能力を備えた、国際性豊かな人材の育成を目指しています。

自然と友達となり、人間の友達も沢山つくってください。みなさんの貴重な学生時代が有意義なものとなるよう期待しています。



清木場 信 行

「新入生へのアドバイス」

生物生産学科2年 清木場 信 行

新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。晴れて大学生となられた気分はどうでしょうか。ではこの場を借りて、みなさんへ「アドバイス」を送りたいと思います。僕達の学科は最初の一年間は専門の授業も少なく、またその大半が概論であるため授業が退屈かもしれません。ですからサがる人も続出します。

しかし、これは受動的に講義を受けてしまうからです。授業で分からない箇所は先生方に聞く、もしくは図書館やインターネットなどを使って調べる等の努力をしてみてください。そして「自分で考え自分で行動する」という意識をもつようにしてください。その意識があって、“農学”は学べるものと僕は思います。単に受動的に情報ももらって“農学”を学ぶのではなく、自分の視点から“農学”を学ぶ努力をしてください。

研究テーマに恋をする

農学研究科2年 向 井 祥 恵

「こうしたらどうだろう」「次はどうしよう」「どうしたら...」これだけを聞いたなら片思いでもしている人の言葉に聞こえるかもしれない。でも、この言葉、自分の研究に熱心に取り組む人から聞かれる言葉だ。

学部の時にはなんとなくしかつかめなかった研究テーマも実験や調査を進めていくうちにしだいにその世界へ引き込まれていく。そして、そこから次々と生まれる疑問や矛盾、うまく導きだせない結果にとまどい苦しむ。でも、気がつくといつのまにかその世界へ入りきっている自分がそこにいる。まるで恋愛でもしているかのように...。大学院での研究はそういうものだとは私は思う。

大学院は学部の時とは異なり授業はあまりなく、ほとんどの時間を自分の研究のためだけに費やすことができる。みなさんも、これから充実した学生生活を送れるよう、いい研究テーマと出会い、めいっぱい恋してみてください。



向 井 祥 恵



市川 英雄

水産学部新入生へのメッセージ

新入生の皆さん、入学おめでとう。長年の努力が実って晴れて大学生となった皆さんは、これから生涯の中でもっとも貴重で有意義な時間を自らの裁量で自由に使える大学生生活を送ることになるわけです。しかし、このところ「平成維新」といわれるように、日本社会や大学の教育研究をめぐる内外環境は激変しています。皆さんは、こうした中で21世紀に多方面で活躍する自立した社会人として成長することが期待されています。

水産学部では、創立以来、附属練習船などを活用し「海や魚に大いなる夢を」託して国内だけでなく、国際的にも活躍できる学生の教育にあたるとともに、東南アジアなどから多数の留学生を受入れ有能な人材を養成してきました。平成9年度には、内外情勢の変化を踏まえ、学部改組を行いました。新しい教育組織は、建学の精神を活かしつつ新たな時代に対応したもので、水産総合、水産環境、水産資源の3コース制にし、水産学に関する

水産学部長 市川 英雄

幅広い知識とともに社会的な重要性が増している資源、食糧、環境などの諸問題を総合的に教育できる組織となっています。また、水産教員養成課程の教育を独立させ、水産高校の教員志望者の質的向上にも努めています。しかし、大学はこれまでのように与えられたものを受動的に勉強すればよいというところではありません。知識の修得だけでなく、むしろ自ら問題意識をもち、課題を設定し、試行錯誤しながら創造的なものを生みだすのを重視したトレーニングの場です。自らの課題に情熱をもって立ち向かい、積極的に取組む姿勢や努力が必要です。水産科学はまだ未解明な問題も多く、若い皆さんが夢を実現できる可能性も大きい分野です。今回の長野冬季五輪でも皆さんと同世代の若者の活躍には、目を見張るものがありました。師友とのいい出会いを求め、何事にも失敗を恐れず、青春をぶつけて多くのことに挑戦し、自らの新しい進路を見いだす旅立ちをしてください。



猪之鼻 友和

新入生へのアドバイス

水産学科2年 猪之鼻 友和

大学入学を勝ち取り、またその準備も終わりほっと一息ついている頃だと思えます。大学はご存知のように全国から様々な人が集まるところです。そういう場所で、四年間を充実した大学生活としてやっていけるのか不安になる人も少なくないと思います。私もその中の一人でした。しかし、大学生にもなり消極的な姿勢ではいけないと思い、私の場合積極的に友人を作ることに入れました。その中の一つとしてサークル活動への参加があります。サークル活動は高校の時の部活動と違い、同じ目的を持った人が互いに協調し合い活動していくグループで、様々なグループが数多く存在します。この中で、学部を越えた人付き合い、先輩後輩のあり方についても学ぶことができます。私のように不安に思っている方は、まずはじめにサークル活動への参加をおすすめします。きっと自分にプラスになり、充実した大学生活が過ごせると思います。

新入生へ

水産学研究科2年 井上 成秀

新入生のみなさんへのアドバイスを書くにあたって、私が大学に入学した当時、よくこんな事を言われた事を思い出した。「君、何学部？なーんだ、水産か！」と。いかにも馬鹿にされているようだった。しかし、こんな事を言われているうちにいつしか、「地球の7割を占める海を研究し尽くして、お前ら見返してやる！」と馬鹿な事を思うようになった。

人に何を言われようが、どんな障害があろうが、常に前向きな気持ちで物事に取り組む姿勢の大事さを大学生活の中で一番に教わり、新入生諸君にも分かるときがくると思います。また、学業のみならず、その他の人生の勉強もいろいろとできるチャンスですから、4年間の時間を有意義に使ってください。

最後に、大学という場合は中学、高校とは比較にならないほどの人との出会いがあると思います。できるだけ多くの友人を作って大学生活を楽しんでください。



井上 成秀



銚之原 昌

医技短入学おめでとう

イギタンとは、医療技術短期大学のことなのです。そのうち皆さんも聞きなれ、言いなれになるでしょう。

本学部は、桜ヶ丘キャンパスにあり、医学部、歯学部の一部をしめています。普通の短期大学は2年ですが、本学部は看護学科、理学療法学科、作業療法学科があり3年間で卒業します。看護学科を卒業すると、進学希望があれば、助産学専攻と地域看護学専攻の1年間の専攻科に進むことも出来ます。そして、晴れて国家試験に合格すれば、看護婦(士)、理学療法士、作業療法士、助産婦、保健婦(士)の免許がとれるのです。

医技短の歴史は浅く、皆さんが13期生になります。また、専攻科は10期生となります。医療や保健は、わが国の高齢化と少子化の進行と共に、極めて多様化し各方面から医療技術系の質と量の充実が強く要望されています。このような要請に応じて4年制に移行することになり、来年からは医学部保健学科

医療技術短期大学部部長 銚之原 昌

となりますので医技短としては最後の学生になります。

ここで養成する医療職は、医師や歯科医師と同じように直接、患者さんや障害者や高齢者などと接して付き合っていく職業です。身体的健康の回復はもちろんですが、精神的なものを含めて人間生活の全ての社会生活への復帰を推しはかりながら援助していかねばなりません。従って、幅広い人間性が要求されます。最近、大学生に「大人になりたくない症候群」が多いと指摘されています。皆さんは、卒業しますと否応なく、何倍も経験を積んだ人々と接していかねばなりません。是非、大学生活は、早く精神的大人になる努力をしてほしいと思います。

先輩達は、医療施設や福祉施設や教育機関など全国各地で活躍しています。皆さんには明るい将来が待っています。充実した大学生を送り、未来へ羽ばたきましょう。



福永早苗

新・医技短生のみなさんへ

看護学科2年 福永早苗

鹿児島大学医療技術短期大学部に御入学おめでとうございます。そして、受験勉強お疲れさまでした。(よく頑張りましたね！)

新入生の皆さんは医技短で3年間、専門の勉強をすることになります。(最初に明言しておきますが)医技短での勉強は様々な意味で大変ハードです。私が所属する看護学科を例に挙げますと、一年前期では人間性豊かで教養のある看護婦になる第一歩として一般教養を専門教科も勉強しながら学びます。後期からは専門教科を本格的に学び始めます。医技短での勉強は高校までのものと異なり、大変興味深く、看護婦になるための大切な勉強で、そのため学ぶのがとっても大変ですが、それだけ得るものも多く充実したものです。勉強のことばかり述べてしまいましたが、私達は看護学生でもありながら短大生でもあります。サークルなどに積極的に参加して、様々な人に出会い、様々なことを体験して、自分なりに充実した学校生活にしてください。

おいわい

理学療法学科2年 北川慶子

新入生の皆さん入学おめでとうございます。はれて大学生になって、やりたいことをたくさん思い浮かべていることだと思います。

私がここでアドバイスできることは、勉強することも大事だけれど、一年生のうちにやりたいことをやってほしいということです。

私たちの学部は毎日の勉強がそのまま将来につながっていくということもあり、大変ですが、とてもやりがいがあります。一年生のうちから結構講義がつまっていますが、自分で勉強を上手に作って、遊ぶもよし、バイトするもよし、いろんなことに挑戦してください。でも次の日のことも考えて行動して下さいね。

大学生になって人とのつながりがとても大切だと感じるようになります。いろんな人と出会って下さい。先輩との付き合いで色々な情報を手に入れることができます。サークルに入ることもおすすめします。

後々のことも考えて少しは勉強して下さい。



北川慶子



小澤 貴和

連合農学研究科の紹介

連合農学研究科は新入生の皆さんにとって最も遠い存在でしょう。なぜなら、この研究科は博士課程のみで、しかも形式的には鹿児島大学とは独立しているからです。

では紹介しましょう。まず場所です。農学部にある正門に入ってすぐの、左手にある3階建ての小さなビルが管理運営と若干の研究設備のための建物です。それ以外に本研究科の建物はありません。では博士課程の院生はどこで研究し、勉強しているのでしょうか。その疑問のために本研究科の構成を説明しましょう。

本研究科は九州地区の佐賀、宮崎、鹿児島、及び琉球大学の各農学部と水産学部（鹿児島大学のみ）の修士課程が連合した3年間の博士課程です。その設置大学が鹿児島大学です。入学した院生は研究を指導する教授の所属大学学部部に配置されて研究します。それで本研究科の建物に院生はいないのです。

このような連合農学研究科は全国で合計6

専任教官 教授 小澤 貴和

研究科があります。その中で教官数が最も多く、また研究内容が最も豊富なのが本研究科です。

本研究科は1988年に創立されましたので、本年で満10年を経過しました。その間230名が博士号を取得し、その中の160名は25カ国からの留学生です。在學生は168名で、その半数83名は23カ国・地域からの留学生です。皆さんが見かける留学生の1/2以上は本研究科の院生とってください。日本人学生も構成大学学部修士の卒業生だけではありません。例えば、本大学理学部や工学部からの入学生もいます。また、近頃は女子学生の入学が多くなりました。このように本研究科は教授のみでなく、院生も極めて多様です。

最も遠い存在ですが、そのうち出来るだけ多くの諸君が興味を持たれるよう願っております。

連合獣医学研究科への期待

教授 西尾 晃



西尾 晃

山口大学大学院連合獣医学研究科（獣医連大）は、鹿児島大学、宮崎大学、山口大学および鳥取大学の獣医学科とそれぞれの家畜病院の教官組織と研究設備等を連合して標準修業年限4年の博士課程で、1990年に山口大学に設置された。獣医連大の特色は、上記4大学の教官が協力して、多彩な教育と研究指導を行う点にある。すなわち、院生1人に対して、主指導教官と副指導教官2人の計3人が指導にあたる。副指導教官の1人は、主指導教官とは異なる大学の同分野の教授である。このように、院生は他大学の教授の指導を受けたり、他大学の研究施設を利用することができる。現在、約100名の院生が在籍しており、社会人や外国人も多く、お互いに刺激しあいながら活発な研究活動が行われている。主指導教官および代議委員の1人として、本研究科の院生が研究の醍醐味を満喫しつつ、独創的研究を行い、学術の進歩と社会の発展に貢献しうる人材に育つことを願っている。

良い研究計画、一生懸命、頑張る

連合農学研究科2年 ファウザン アリ

最近、博士課程では3年で修了できないケースが多いと言われていますが原因は博士論文の編集にあるケースが多いようです。論文を出してからジャーナルに載せられるまで大体1年間かかってしまいます。また、博士の学位を獲得するには少なくとも論文を2つジャーナルに載せなければなりません。

一年目の研究論文を二年目、二年目の研究論文を三年目にジャーナルに載せることができたら、後は追加論文を書いたら修了できる可能性が大きいのです。

これらは完璧な計画、自分の一生懸命さおよび先生との関係がよくなければ、上手くいきません。その他に留学生の場合は別の原因として周りの文化の違いや家庭の状況や語学の問題などもあります。良い研究計画を立てて、一生懸命研究を行い、先生方と良い関係を保って頑張りましょう。



Fauzan Ali

学内だより

随 想

鹿児島大学を感じるとき



梅野正信

鹿児島大学に着任して十年がたつ。いつの間にか、というのが実感である。

この間、教育学部に籍をおき、教育学部学生の講義や演習を担当してきた。学部内の会議や教授会には、ほどほどには出会ってきたので、学部の教官諸子のお顔と名前くらいは存じ上げているつもりである。

教育学部に所属するものとしての自覚は、まあ、あるのではないか。

さて、私の通勤コースは、ちょうど鹿児島大学の郡元キャンパスを横断する形をとる。教育学部の研究棟から、郡元南食堂を左手に、二つの体育館の間を抜け、横断歩道を渡り、図書館を横目に、歩行者ゾーンをまっすぐと農学部まで歩く。

つきあたりを左に折れると、出口付近には馬術部の小屋があって、学生たちが馬の世話をしている。その様子をうかがいながら、外の道路に出る。

三年ほど前、講義で、学生たちにアンケートをとったことがある。

その中で「卒業して、先生として子供たちを連れて来たいと思うような、大学で一番思い出のある場所はどこですか?」という設問を入れておいた。回答のトップは「椰子並木」と「銀杏並木」だったと記憶する。

その際の理由に、「大学らしい雰囲気がある」「開放的」「自由を感じる」といった記憶が多かったのには、少し驚かされた。

今時の学生にしては、という思いだった。

それが、毎夕、ここを歩いて通るようになってから、何となく、学生たちの気持ちが分かるような心持ちになってきた。何かしら、心が開かれていくような感慨を受けるのである。秋の黄金色に燃えるような銀杏もまた見事である。

だから、というわけではないが、最近、私

教育学部 助教授 梅野正信

は、自分が鹿児島大学に所属することを自覚するのはどんな時だろうと考えるようになった。

まずは、組合の執行委員となり他学部の先生方とともに活動した時のこと、そして、いま一つは全学教務委員として仕事をさせていただいた時のことが、思い浮かぶ。

いずれも、一昨年の、あの、大学改組期に重なったため、私よりは年輩の、他学部の先生方を相手に失礼な発言を繰り返してしまい、今思えば赤面のいたりである。

しかし、これはこれで、確かに、自分は鹿児島大学に属しているのだなと実感できたように思う。

また、昨年度から、私は、共通教育科目として「映像に見る教育と社会」という講義を担当している。40名程度の学生を相手に、日本の時代や社会を色濃く反映した映画を、戦前から現在まで紹介し、実際に鑑賞しつつ、私の解説を聴いてもらう。

集まってくる学生は、本年度は、医学部、農学部、工学部、法文学部、教育学部と、ほぼ全学部にまたがっている。それぞれの学部的一年生が、これからの大学生活に期待を抱いて、教育学部に集い、同じ時を過ごす。

これもまた、鹿児島大学の教官だからこそ与えられた機会ではないかと思っている。

講義は、前述の大学改革の委員をしていた関係で引き受けたこともあって、当初、あまり気が進まぬ思いで担当したのだが。

共通教育をめぐる慣例や私自身の負担の問題など、不満がないとはいえない。しかし、互いの、大学人としての前向きで建設的な議論もまた、教官側の、このような共有する体験をもってして、少しずつ形成されていくのではなからうかと思うのである。



保健管理センターへのご案内



前 田 芳 夫

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さん方、大学生になって、きっと張り切っていることと思います。どうぞ、その心意気を大切に、これからの学生生活を有意義に過ごして下さい。しかし、そのためには、何はともあれ健康でなければなりません。皆さん方の、この健康を守るために、鹿児島大学には保健管理センターがあります。保健管理センターとは、ちょっと聞き慣れない名称ですが、覚えておくと大変便利です。

保健管理センターでは、主として以下の業務を行っています。

日常の一般診療・健康相談・心理相談

カゼやケガ、心配事等、文字通り皆さん方が日常遭遇するいろいろな病気や相談事に、毎日、無料で応じています。無料ときくと、皆さん方の中には、「安い薬を使って、いい加減な治療をされるのではないか」と心配される方がいるかも知れません。しかし、そのようなことはありません。その証拠に、皆さん方の先輩達も、最初は、保健管理センターへおずおずとやって来ますが、1度来ると、その後は、2度、3度と、病気の度に、気軽にやって来るようになります。ちなみに、昨年度、何らかの理由で保健管理センターを利用した皆さん方の先輩達は、延人数にして約10,000名でした。皆さん方も安心して、保健管理センターを利用して下さい。

定期健康診断

また、保健管理センターでは、予防医学的な立場から、毎年、全学生を対象に、定期健康診断を行っています。これは鹿児島大学の重要な行事の一つで、鹿児島大学の学生は全員、この定期健康診断を受けなければなりません。これは義務です(学生便覧：鹿児島大学学則参照)。もしも、皆さん方の中に、「自分は健康そのものだから、定期健康診断など受ける必要はない」と考えている人がいるとすれば、その人が健康だという保証は、一体

保健管理センター 所長 前 田 芳 夫

どこにあると言うのでしょうか。鹿児島大学では、定期健康診断の度に、毎年150名前後の人々が、何らかの異常を指摘され、そして、その1/3の人々が要治療者として、専門病院へ紹介され、治療を受けています。その中には、肺結核の人も数名含まれています。発見が早かったため、これまでのところ、大事には至っていませんが、過信は禁物です。何事もそうでしょうが、病気では特に、早期発見、早期治療が大切なのです。

特別健康診断・臨時健康診断

さらに、保健管理センターでは、実験・実習やスポーツ大会に備えての特別健康診断や臨時健康診断を行っています。しかし、これらはすべて、定期健康診断を受診した人に限られています。従って、定期健康診断を受けなかった人は、その年の特別健康診断や臨時健康診断は受けられませんので、お金を払って、どこかよその病院で診察を受けるしかありません。

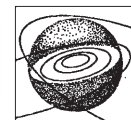
健康診断書等の発行

この他、保健管理センターでは、就職や奨学金等用の健康診断書の発行も行っています。しかし、これもまた、定期健康診断を受診した人に限られています。

皆さん方は、これらのことをよく肝に銘じて、定期健康診断をサボったりすることのないようにして下さい。

最後になりましたが、現在、保健管理センターには、専任の医師が2名おります。それぞれ内科と精神科を担当しておりますが、その他にも、大学病院からは、内科、精神科、放射線科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科の先生方が、また、法文学部、教育学部からは心理の先生方が、それぞれ学医としてセンターに来られ、診療に、あるいはカウンセリングにあたっています。

皆さん方も、センターを上手に利用して、健康で、快適な学生生活を送って下さい。



鹿児島での生活

教育学部 アガタ クルツェジンスカ (ポーランド)



Agata Gruszczynska

私が日本に初めて来たのは2年半前のことです。本日研修プログラムで本州に1ヶ月程滞在しました。その間、東京・大阪・京都などを訪れ、またホームステイをして、日本人の普通の生活を体験することもできました。しかし、1ヶ月という期間はあまりに短かく、またいつか長期間でゆっくりと滞在してみたいと思っていました。そして昨年、幸運にも文部省の奨学金の試験に合格し1年間の日本での留学のキップを手に入れることができました。

しかし、ここに来る前実際鹿児島についてはほとんど何も知らず、ただ日本のどこに位置し人口がどれくらいで夏にはよく台風がやって来るということくらいしか知りませんでした。鹿児島はポーランド人の私にとって大変エキゾチックで自然も美しく感動の尽きぬ毎日です。特に桜島は毎日その表情を変え私をあきさせません。

ポーランドを発つ前、鹿児島大学がどんな大学なのか大変興味がありました。日本の大

学はポーランドの大学とはいろんな意味で異なります。例えば日本の大学生は比較的自分のための時間を多く持っています。ポーランドの大学では授業は毎日ぎっしりつまっていて宿題も多く、授業のための準備も欠かせません。また基本的に、ポーランドでは授業中に居眠りをするなどということは考えられません。そして、ポーランドでは大学生は成人しているように思われるのですが、日本では大学を卒業して初めて成人するような印象があります。

しかし、日本人の学生は大変親切で留学生に非常に興味を持ち、また教授の方々もできるだけ留学生の手助けをしようとしてくれます。そのような人達のおかげで日本での生活にも随分と慣れ、充実した毎日をおくことができます。日本での留学もあと残すところ半年になりましたが、この半年がさらに充実した意義ある日々になるようこれからも努力していきたいと思っています。

Surviving in Japan

水産学研究科 ガジャルド シガロア フランシスコ ハビエル (メキシコ)



Gallardo Gigarroa
Francisco Javier

The Faculty of Fisheries offers a wide diversity of opportunities to foreign students who wants specialize in areas concerning with Marine Sciences. I decided to come to this school because of its international and well known prestige. I am in the area of Marine Nutritional Chemistry where we have excellent facilities to do experiments. Also we can depend for advice from our senseis, Dr. shin Ichi Teshima, Dr. Shunsuke Koshio and M. Sc. Manabu Ishikawa who have a wide knowledge in the design of investigation programs.

When I came to Japan, I was really excited because of the opportunity to get a Master degree and to know other cultures. At the beginning I was overwhelmed by variety of differences between Japan and my country. The language and food were the two biggest challenges. Even before I came, I heard about raw fish, natto, sekihan, wakame, mizoshiro and tons of boiled rice, but I never imagined that it will be my turn to try them myself. But now I can enjoy Japanese food with gusto. With respect to my Japanese language ability I feel that I still need improve it. (mada heta desu).

Like any foreign students in Japan, I think I am pretty lucky to live in Kagoshima, a really pleasing, wonderful and hospitable city. I am completely sure that one of the most important things to enjoy life in Japan is not to spend time brooding ones culture, and to compare it with Japanese culture (like I did at the beginning). We have to learn how to live and enjoy this great opportunity in Japan. Let's go out to involve with Japan, its culture, its traditions and its people, and make good friends. Let's do our best to be better persons and better professionals when we go back to our countries.

研究室紹介



農業市場学研究室



岩 元 泉

わが国の農業をめぐる状況は年々厳しさを増しており、次々に行われる農産物の輸入自由化とそれともなう輸入農産物の急増によって、食糧自給率も低下の一途をたどっています。また、農産物の需給バランスも大きく崩れ、農産物価格も下落するなど、国内農業は厳しい状況に置かれているのです。

こうした問題の解決には、農業技術の開発もさることながら、社会経済的なアプローチも欠かせません。例えば、農業生産におけるコストダウンを図るという課題ひとつとっても、高性能の農業機械を開発するだけでは足りず、効率的な生産を実現しうる規模の農地を担い手の確保されている経営に集積したり、農業生産に投入される肥料、農業などの価格をいかに引き下げるか等が、必要になってきます。このように、社会経済的な側面から農業問題の解決をめざして研究を展開しているのが、われわれの研究室を含む農業経営経済学講座なのです。

ここで農業市場というのは、農産物や農業生産に必要な生産資材などの流通ならびに価格形成を包括する概念です。カバーする分野は コメ、青果物、畜産物などの農産物市場、 種苗、肥料、農薬、農業機械など農業生産に必要な生産資材市場、 農地市場、 農業金融市場、 地域労働市場の5分野です。

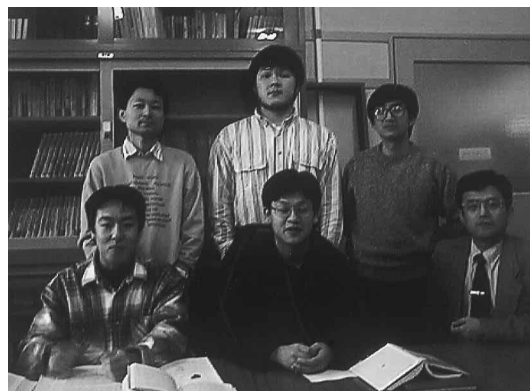
と申しましても、少数のスタッフで全てをカバーできるわけではありませんので、現在取り組んでいる課題は次の通りです。まず、岩元は全学有機農業プロジェクトの一員として、有機農産物の流通、堆肥流通システム、アイガモ農法におけるコメと合鴨肉の流通問題という3つの課題に取り組んでおります。坂爪助教はスーパーを主体とする青果物の流通再編問題をテーマとして、スーパ

農学部 教授 岩 元 泉

ーの青果物調達システム、輸入青果物流通、卸売市場問題、農協共販などの課題に取り組んでいます。

この他にも、他大学の研究者との共同研究として海外研究も行っており、教授はベトナムの市場経済化問題を、助教授も中国の市場経済化にともなう青果物流通問題を対象に、調査研究を進めています。

もうひとつ、教育面といいますが、学生生活の紹介をしておきましょう。農業市場学研究室ではゼミナール形式の演習と、それを通じて作成する卒業論文が教育面の中心軸になっています。卒業論文のテーマは各自が自由に設定し、その課題に即して農家や卸売市場の調査をし、卒論ゼミにおける検討を通してまとめ上げていきます。98年度からは、紹介したような研究テーマごとに大学院生を含めたチームに編成して統計分析や実態調査などを実施し、卒論や修論にもつなげていこうという構想をもっています。



農業市場学研究室のスタッフ

新任部局長等紹介

(平成10年2月から4月までの発令です)

学生部長(新任)



[氏名]野 勉
[任期]H10.4.1~H12.3.31
[専門分野]流体工学、環境再生工学
[現職]工学部教授

自律あつての自由な大学であることを自覚され、常に自重し、責任ある行動と誇りを持って、勉学や課外活動で力を発揮して下さい。

法文学部長(再任)



[氏名]石田 忠彦
[任期]H10.4.1~H12.3.31
[専門分野]日本近代文学
[現職]法文学部教授

平成9年度の学部改組と平成10年度の大学院改組新設の基礎の上に立って、新しい法文学部の内容充実を心がけたいと考えております。

教育学部長(新任)



[氏名]坂尾 隆
[任期]H10.4.1~H12.3.31
[専門分野]有機化学
[現職]教育学部教授

教育学部は改革期にあり、新しい方向を創りだしていく重要な時期ですが教職員・学生の総勢で頑張っていきたいと思っています。

教育学部附属中学校長(再任)



[氏名]北川 茂治
[任期]H10.4.1~H11.3.31
[専門分野]国語科教育
[現職]教育学部教授

附属中学校の本来の役割・機能を充実するとともに、大学・学部との教育・研究の連携を一層推進するように努めていきたい。

教育学部附属養護中学校長(再任)



[氏名]久留 一郎
[任期]H10.4.1~H12.3.31
[専門分野]障害児心理学
[現職]教育学部教授

自分の専門の立場から、附属学校で教育臨床体験がもてることを幸いに思います。大学・学部の一層のご支援を期待しています。

理学部長(再任)



[氏名]堀田 満
[任期]H10.4.2~H12.4.1
[専門分野]植物系統分類学
[現職]理学部教授

4学科への改組と理工学研究科生命物質システム(博士)の新設によって、より総合的に展開する理学部の、更なる充実を目指したい。

医学部附属腫瘍研究施設長(再任)



[氏名]秋山 伸一
[任期]H10.4.1~H12.3.31
[専門分野]腫瘍学
[現職]医学部附属腫瘍研究施設教授

腫瘍研での研究の最終目標は、言うまでもないことですが、癌の制圧であります。志を同じくする学内外の研究者の方々と協力してこの困難な目標を達成していきたいと考えています。

歯学部附属病院長(新任)



[氏名]井上 昌一
[任期]H10.4.1~H12.3.31
[専門分野]予防歯科学
[現職]歯学部教授

歯科学の教育研究病院、また南九州唯一の歯科総合病院として、開設19年目を迎えた歯学部附属病院の機能の一層の充実に努力したい。

農学部附属農場長（新任）



〔氏名〕林 満
〔任期〕H10.2.1~H12.1.31
〔専門分野〕熱帯作物学、作物学
〔現職〕農学部教授

生物生産や環境保全などの面で実習教育に対する時代や社会の要請は大きく変化してきており、実習教育の見直しを早急に実現したい。

水産学部長（新任）



〔氏名〕市川 英雄
〔任期〕H10.4.1~H12.3.31
〔専門分野〕水産経済
〔現職〕水産学部教授

水産学科に対する時代要請に応じた教育研究を充実させ、学生に“海と魚に大いなる夢を”与えるような教育環境の整備に努めたい。

水産学部附属水産実験所長（新任）



〔氏名〕四宮 明彦
〔任期〕H10.4.2~H12.4.1
〔専門分野〕魚類生態学
〔現職〕水産学部助教授

開所から26年目の今春、三代目の専任教官に山本智子助手を迎えます。
今後とも関係の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

地域共同研究センター（新任）



〔氏名〕幡手 泰雄
〔任期〕H10.4.1~H12.3.31
〔専門分野〕化学工学
〔現職〕工学部教授

産学官交流の窓口として役割を果たしていきます。大学人の業績に“社会への貢献”も考慮されるべきだと思ふようになりました。

遺伝子実験施設長（再任）



〔氏名〕林 満
〔任期〕H10.4.1~H12.3.31
〔専門分野〕熱帯作物学・作物学
〔現職〕農学部教授

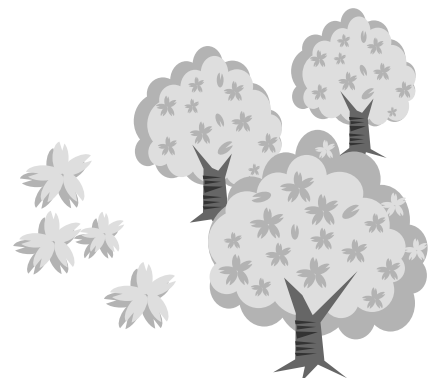
施設建設の早期着工を図り、21世紀の遺伝子研究の発展に貢献できる実験施設を造って、教官や学生の皆さんに提供したい。

（平成9年12月2日から平成10年2月15日までの間に就任された教官（講師以上）です）



〔氏名〕下園 幸一 修士（工学）
〔生年月日〕昭和43年12月20日
〔最終学歴〕九州大学大学院工学研究科修士課程
〔前職〕九州大学情報処理教育センター助手
〔担当学科〕エンドユーザ実習

工学系の出身ですが、技術を生かして文系で学生の皆さんと共に頑張りたいと思います。



< 平成10年度入学志願者受付状況 >

(鹿児島大学)

学部	学科・課程等	前期			後期		
		募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率
法文	法政策学科	105	247	2.4	30	191	6.4
	経済情報学科	128	352	2.8	20	187	9.4
	人文学科	90	257	2.9	30	153	5.1
	計	323	856	2.7	80	531	6.6
教育	学校教育教員養成課程	181	775	4.3	69	974	14.1
	国語専修	14	85	6.1	6	62	10.3
	社会専修	16	62	3.9	7	35	5
	英語専修	11	24	2.2	4	52	13
	数学専修	14	50	3.6	6	32	5.3
	理科専修	16	61	3.8	7	95	13.6
	技術専修	11	68	6.2	4	108	27
	教育学専修	12	29	2.4	8	206	25.8
	心理学専修	14	67	4.8	6	53	8.8
	家政専修	13	103	7.9	5	81	16.2
	音楽専修	16	40	2.5	4	39	9.8
	美術専修	14	45	3.2	4	39	9.8
	保健体育専修	30	141	4.7	8	172	21.5
	看護学校教員養成課程	14	64	4.6	6	29	4.8
	生涯教育総合課程	21	226	10.8	14	177	12.6
	地域生涯教育コース	13	171	13.2	7	138	19.7
	地域社会教育専修	8	141	17.6	4	101	25.3
	国際理解教育専修	5	30	6	3	37	12.3
	健康教育コース	8	55	6.9	7	39	5.6
	計	216	1,065	4.9	89	1,180	13.3
理	数理情報科学科	30	56	1.9	8	62	7.8
	物理科学科	31	55	1.8	8	51	6.4
	生命化学科	35	81	2.3	11	74	6.7
	地球環境科学科	26	44	1.7	12	42	3.5
計	122	236	1.9	39	229	5.9	
医	医学科	60	254	4.2	40	312	7.8
	計	60	254	4.2	40	312	7.8
歯	歯学科(前期A)	20	89	4.5	20	142	7.1
	歯学科(前期B)	20	21	1.1	-	-	-
	計	40	110	2.8	20	142	7.1
工	機械工学科	75	123	1.6	15	111	7.4
	電気電子工学科	62	158	2.5	15	96	6.4
	建築学科	41	103	2.5	13	99	7.6
	応用化学工学科	47	141	3	16	105	6.6
	海洋土木工学科	32	115	3.6	15	80	5.3
	情報工学科	41	71	1.7	12	73	6.1
	生体工学科	42	203	4.8	18	129	7.2
	計	340	914	2.7	104	693	6.7
農	生物生産学科	57	158	2.8	17	52	3.1
	生物資源化学科	47	124	2.6	15	83	5.5
	生物環境学科	46	161	3.5	15	76	5.1
	獣医学科	24	304	12.7	6	73	12.2
	計	174	747	4.3	53	284	5.4
水産	水産学科	101	338	3.3	26	196	7.5
	水産教員養成課程	7	32	4.6	2	27	13.5
	計	108	370	3.4	28	223	8
合計	1,383	4,552	3.3	453	3,594	7.9	

< 平成10年度推薦入学志願者受付状況 >

(鹿児島大学)

学部	学科・課程	推薦入学			推薦入学		
		募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率
法文	経済情報学科				7	10	1.4
	人文学科				35	79	2.3
	計				42	89	2.1
理	数理情報科学科	5	33	6.6			
	物理科学科	10	33	3.3			
	生命化学科	4	23	5.8			
	地球環境科学科	12	43	3.6			
	計	31	132	4.3			
工	機械工学科	10	28	2.8	3	2	0.7
	電気電子工学科	2	5	2.5	6	6	1
	建築学科				8	34	4.3
	応用化学工学科	2	1	0.5	4	8	2
	海洋土木工学科				4	2	0.5
	情報工学科	4	17	4.3	3	4	1.3
	計	18	51	2.8	28	56	2
農	生物生産学科				10	15	1.5
	生物環境学科				6	11	1.8
	計				16	26	1.6
水産	水産学科	3	5	1.7			
	水産教員養成課程	1	0	0			
	計	4	5	1.3			
合計	53	188	3.5	86	171	2	

* 推薦入学 は、個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する。

** 推薦入学 は、個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課す。

< 平成10年度入学志願者受付状況 >

(医療技術短期大学部)

学科名	募集人員	確定	
		志願者数	倍率
看護学科	80名	426人	5.3
理学療法学科	20名	278人	13.9
作業療法学科	20名	173人	8.7
合計	120名	877人	7.3

* 看護学科80名の内30名程度は推薦入学で受入れる。

鹿児島大学にはこんなサークル（部・同好会）があります

平成10年2月1日現在

文 化 系				体 育 系			
No	部 名	No	同 好 会 名	No	部 名	No	同 好 会 名
1	フロイデ・コール	1	音 楽 鑑 賞 会	1	柔 道 部	1	ゴ ル フ 同 好 会
2	吹 奏 楽 団	2	フ ォ ー ク ソ ン グ 同 好 会	2	剣 道 部	2	ワ ン ダ ー フ ォ ー ゲ ル 同 好 会
3	ポリフォニー・コール	3	キ ッ ク ス	3	空 手 道 部	3	ス ケ ー ト 同 好 会
4	演 劇 部	4	マ ン ド リ ン ク ラ ブ	4	弓 道 部	4	サ ッ カ ー 同 好 会
5	管 弦 楽 団	5	フ ァ イ ブ エ イ セ ス	5	ボ ク シ ン グ 部	5	軟 式 野 球 同 好 会
6	ハ ー モ ニ カ バ ン ド	6	映 画 研 究 会	6	少 林 寺 拳 法 部	6	ア イ ス ホ ッ ケ ー 部
7	ク ラ シ ッ ク ギ タ ー ク ラ ブ	7	石 笑 会	7	合 気 道 部	7	モ ー タ ー サ イ ク ル 同 好 会
8	ジャズバンド	8	ユースホステル同好会	8	サ ッ カ ー 部	8	軟 式 庭 球 同 好 会
9	邦 楽 部	9	将 棋 愛 好 会	9	ラ グ ビ ー 部	9	ウ ィ ン ド サ ー フ ィ ン 部
10	児童文化研究会	10	イ チ ム チ	10	ハ ン ド ボ ー ル 部	10	空 手 同 好 会
11	写 真 部	11	奇 術 同 好 会	11	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	11	ソ フ ト ボ ー ル 同 好 会
12	美 術 部	12	SF&ミステリー研究会	12	バ レ ー ボ ー ル 部	12	硬 式 庭 球 同 好 会
13	E・S・S	13	野 外 活 動 研 究 会	13	硬 式 野 球 部	13	卓 球 同 好 会
14	放 送 研 究 会	14	第 三 文 明 研 究 会	14	準 硬 式 野 球 部	14	極 真 空 手 同 好 会
15	マルクス主義研究会	15	釣 研 究 会	15	卓 球 部	15	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 同 好 会
16	社会科学研究会	16	考 古 学 研 究 会	16	バ ド ミ ン ト ン 部	16	バ レ ー ボ ー ル 同 好 会
17	法 学 研 究 会	17	海 洋 研 究 部	17	軟 式 庭 球 部	17	ス キ ー 同 好 会
18	教育科学研究会	18	天 文 同 好 会	18	硬 式 庭 球 部	18	ス ポ ー ツ 愛 好 会
19	哲 学 研 究 会	19	百 人 一 首 同 好 会	19	水 泳 部	19	中 国 武 術 研 究 会
20	中国・ソ連研究会	20	ニ ュ ー ミ ュ ー ジ ッ ク 愛 好 会	20	漕 艇 部	20	自 転 車 競 技 同 好 会
21	学生心理学研究会	21	スクリーンポップスバンド	21	ヨ ッ ト 部	21	球 技 同 好 会
22	地 理 学 研 究 会	22	コ ン ト ラ ク ト プ リ ッ ジ ク ラ ブ	22	カ ッ タ ー 部	22	パ ー ス ラ イ ド (イ ン ラ イ ン ス ケ ー ト)
23	海 外 研 究 会	23	マ イ ク ロ コ ン ピ ュ ー タ 研 究 会	23	陸 上 競 技 部	文科系サークル 部 33サークル 同好会 40サークル 計 73サークル 体育系サークル 部 30サークル 同好会 22サークル 計 52サークル 合計 125サークル	
24	理 化 学 研 究 会	24	障 害 児 保 育 研 究 会	24	山 岳 部		
25	海 洋 生 態 研 究 会	25	ウ ォ ー ク キ ャ ン プ 愛 好 会	25	体 操 競 技 部		
26	生 物 研 究 会	26	漫 画 同 好 会	26	馬 術 部		
27	社会医学研究会	27	野 鳥 研 究 会	27	自 動 車 部		
28	探 険 部	28	地 域 子 ども 会 研 究 会	28	航 空 部		
29	園 芸 研 究 会	29	映 像 研 究 会	29	サイクリング部		
30	茶 道 部	30	鹿 児 島 シ ョ パ ン の 会	30	舞 踏 研 究 部		
31	書 道 部	31	I・S・A				
32	華 道 部	32	ウ ミ ガ メ 研 究 会				
33	新 聞 部	33	小 原 流 華 道 研 究 会				
		34	エ コ ロ ジ ー 研 究 会				
		35	大 川 隆 法 著 作 権 研 究 会				
		36	建 築 & デ ザ イン 同 好 会				
		37	ク イ ズ 研 究 会				
		38	ゴ ー ル ド フ ィ ッ シ ュ デ ィ ン グ ク ラ ブ				
		39	ア ニ メ 研 究 会				
		40	TOEIC・TOEFL研究会				





新入生のための図書館案内

入学おめでとうございます。図書館では皆さんの利用をお待ちしています。

図書館は、中央図書館（郡元地区）・桜ヶ丘分館（桜ヶ丘地区）・水産学部分館（下荒田地区）の3館で構成されています。皆さんは、3館とも共通に利用できます。

利用方法は、各館それぞれに多少異なりますが、ここでは中央図書館の利用について簡単に述べます。詳しくは入学時配付しました図書館の〔利用案内〕をご覧ください。

〔入館・退館するとき〕

玄関を通過して入口ゲートから入館してください。荷物等も自由に持ち込みできます。退館の際は、出口ゲートから出てください。

〔貸出〕

図書を借りるときは、〔学生証〕が必要です。カウンターに借りたい図書と学生証をお持ちください。

〔返却〕

図書をカウンターにお返しください。休

館日または閉館後は〔返却ポスト〕に入れてください。なお、返却期限を過ぎますとペナルティがつき、借りられなくなりますのでご注意ください。

〔図書の探し方〕

目録検索端末と目録カードを使って探してください。

本学では約123万冊の図書を所蔵していますが、目録検索端末で検索できる図書は約25万冊です。1988年以前の図書は目録カードも併せて調べてください。

〔雑誌の探し方〕

目録検索端末で検索するか、レファレンスデスクの近くに置いてある〔冊子体の雑誌目録〕で探してください。

その他、利用方法や図書・雑誌等に関する事で分からないことがありましたら、お気軽にカウンターでお尋ねください。

編集後記

大学改革後2年目の新入生を迎え、鹿児島大学の教育と研究への意気込みは、学長先生をはじめ各学部長先生からのメッセージに記されており、そこには新入生自身が大学で何を学ぶべきかが問われています。

鹿大広報第147号は、鹿児島大学の様々な情報をお伝えしておりますが、特に、春発行の本号は新入生の戸惑いと不安に応えるために、従来のQ & Aに代わり、特集“新入生へのアドバイス”を企画致しました。これには各学部および大学院研究科の先生、先輩からの貴重な助言が記されております。また、新入生向けに保健管理センターおよび図書館の利用方法なども紹介して頂きました。

本号の発行に際し、貴重な原稿をお寄せ頂きました皆様に厚くお礼申し上げますと共に、表紙のデザインを快くお引き受け下さいました永松先生（本年3月末でご退官）およ

び本号製作にご甚力を頂いた広報委員の方々に心から感謝申し上げます。

（農学部 西中川 駿）

広報委員会委員

東 四郎（委員長・評議会） 西中川駿（評議員）金丸 哲（補導協議会） 石川英昭（法）永松寛夫（教育） 中島正治（理）出雲周二（医） 大工原恭（歯）村島定行（工） 秋山邦裕（農）手島新一（水） 田博文（医短）（印は第147号の編集委員）

鹿大広報 第147号

平成10年4月1日発行

編集・発行

鹿児島大学広報委員会

住所：鹿児島市郡元1丁目21番24号

電話・FAX：099 285 7035・7034

印刷：斯文堂(株)